

【様式4】

兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会  
支部連携会議 終了報告書

一般社団法人 兵庫県薬剤師会 宛 御中

申請日 令和 4 年 12 月 23 日

支部名	姫路	支部長	浦上 文男
TEL	079-282-2100	FAX	079-282-3210
会議名	第32回 病院薬剤師・薬局薬剤師 連携会議		
日程	令和 4 年 12 月 14 日	水曜日	19:30 ~ 21:00
開催場所 (名称・所在地)	姫路商工会議所本館604会議室		
参加人数	県薬： 5 人 病薬： 7 人	合計： 12 人	※出席者名簿を添付すること
会議資料等	必ず会議資料を添付すること。		
会議報告	報告書 添付		
※連携会議 の議事など、簡単な 会議報告記入 (別添可)			
補助金 振込先	播州信用金庫 東 支店 口座番号 普通 その他 ( ) 0386638 口座名義： 一般社団法人姫路薬剤師会 会長 浦上文男		
事務局記入欄	受付日 12/26	常務会 1/7	理事会 1/7
			補助金 30,000

※会議終了後2週間以内に提出すること

※補助金は1人3,000円、上限30,000円、1支部3回までとする

(3,000 × 12 = 36,000)  
上限額 30,000 とする

出務者 病薬

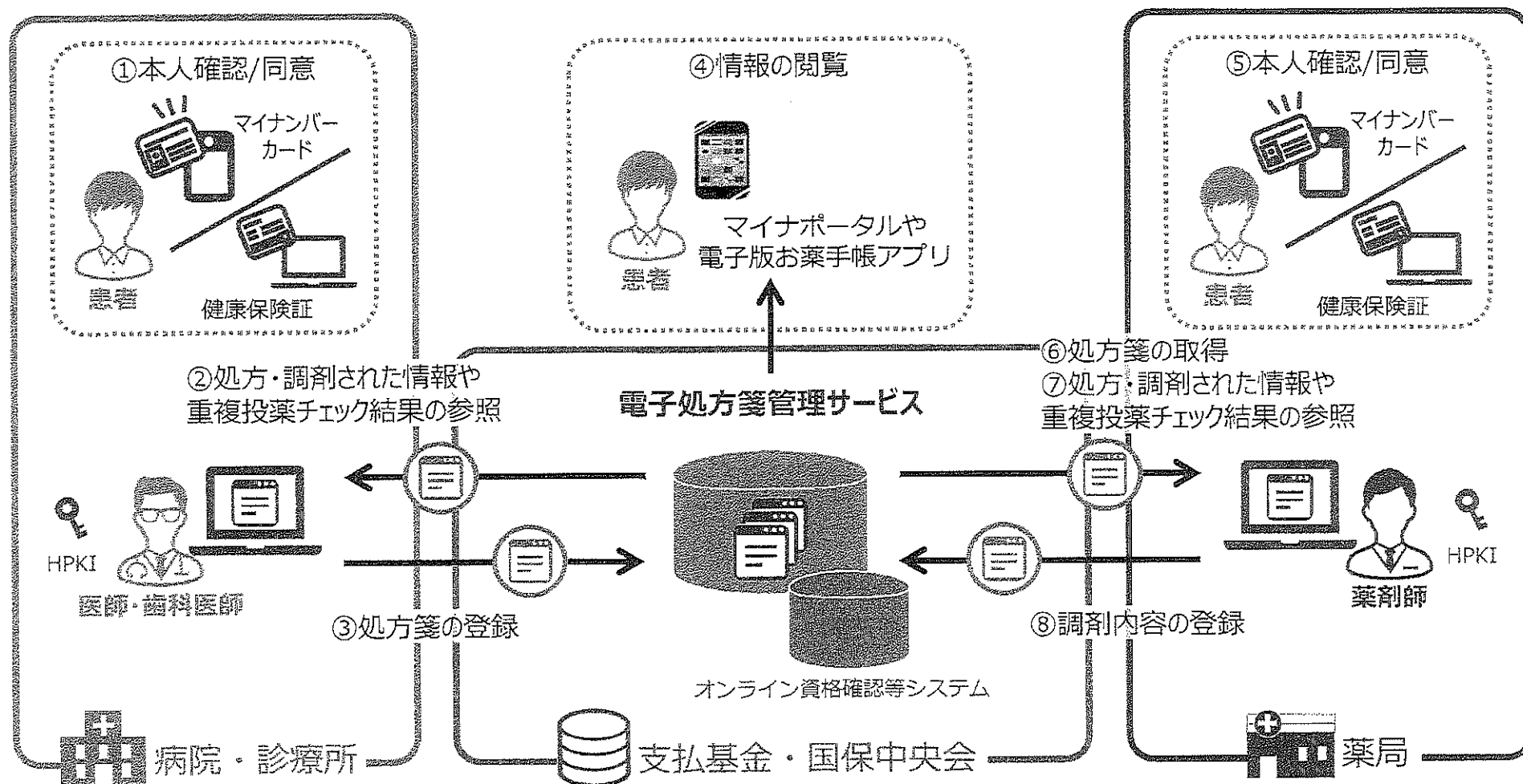
日下悦子<sup>ノ</sup>  
平井完治<sup>ノ</sup>  
渡辺美紀<sup>ノ</sup>  
畑中由香子<sup>ノ</sup>  
本間久美子<sup>ノ</sup>  
福田利明<sup>ノ</sup>  
濱中努<sup>ノ</sup>

県薬

池口由美<sup>ノ</sup>  
森保貴典<sup>ノ</sup>  
松田康弘<sup>ノ</sup>  
西岡健二<sup>ノ</sup>  
八木智<sup>ノ</sup>

# 1. 電子処方箋とは

電子処方箋とは、電子的に処方箋の運用を行う仕組みであるほか、複数の医療機関や薬局で直近に処方・調剤された情報の参照、それらを活用した重複投薬チェックなどを行えるようになります。



医療機関等向けポータルサイトアカウント登録状況及び顔認証付き  
カードリーダー申込状況一覧 2022/10/30

No	県名	薬局							
		機関数	登録率	カードリーダー 申込機関数	申込率	本番接続 機関数	接続率	運用 機関数	参加率
01	北海道	2,279	80.7%	2,100	92.1%	1,399	61.4%	1,253	55.0%
02	青森	611	83.0%	580	94.9%	451	73.8%	401	65.6%
03	岩手	627	85.6%	596	95.1%	490	78.1%	458	73.0%
04	宮城	1,194	83.2%	1,087	91.0%	808	67.7%	672	56.3%
05	秋田	513	89.7%	497	96.9%	387	75.4%	357	69.6%
06	山形	599	77.8%	553	92.3%	407	67.9%	368	61.4%
07	福島	898	71.5%	833	92.8%	549	61.1%	489	54.5%
08	茨城	1,339	69.2%	1,229	91.8%	908	67.8%	850	63.5%
09	栃木	937	79.8%	828	88.4%	613	65.4%	585	62.4%
10	群馬	981	77.6%	881	89.8%	494	50.4%	452	46.1%
11	埼玉	3,125	75.9%	2,845	91.0%	1,965	62.9%	1,722	55.1%
12	千葉	2,590	76.3%	2,389	92.2%	1,678	64.8%	1,432	55.3%
13	東京	6,895	80.9%	6,442	93.4%	4,487	65.1%	3,907	56.7%
14	神奈川	4,078	75.2%	3,821	93.7%	2,462	60.4%	2,115	51.9%
15	新潟	1,162	81.6%	1,087	93.5%	744	64.0%	683	58.8%
16	富山	513	67.8%	480	93.6%	401	78.2%	378	73.7%
17	石川	559	61.7%	523	93.6%	407	72.8%	376	67.3%
18	福井	305	75.4%	288	94.4%	234	76.7%	218	71.5%
19	山梨	470	80.6%	427	90.9%	244	51.9%	226	48.1%
20	長野	1,001	81.9%	952	95.1%	561	56.0%	464	46.4%
21	岐阜	1,037	75.8%	939	90.5%	607	58.5%	549	52.9%
22	静岡	1,873	73.9%	1,754	93.6%	1,274	68.0%	1,124	60.0%
23	愛知	3,540	75.2%	3,285	92.8%	2,184	61.7%	1,927	54.4%
24	三重	862	79.9%	816	94.7%	589	68.3%	528	61.3%
25	滋賀	649	74.9%	617	95.1%	439	67.6%	408	62.9%
26	京都	1,143	76.6%	1,045	91.4%	744	65.1%	661	57.8%
27	大阪	4,447	79.9%	4,123	92.7%	2,966	66.7%	2,631	59.2%
28	兵庫	2,807	79.4%	2,554	91.0%	1,775	63.2%	1,536	54.7%
29	奈良	561	68.1%	511	91.1%	354	63.1%	314	56.0%
30	和歌山	473	85.4%	428	90.5%	256	54.1%	224	47.4%
31	鳥取	279	86.4%	264	94.6%	190	68.1%	178	63.8%
32	島根	338	83.4%	323	95.6%	232	68.6%	210	62.1%
33	岡山	821	91.0%	754	91.8%	631	76.9%	577	70.3%
34	広島	1,561	80.8%	1,413	90.5%	1,018	65.2%	949	60.8%
35	山口	775	93.9%	733	94.6%	460	59.4%	424	54.7%
36	徳島	391	80.1%	361	92.3%	157	40.2%	145	37.1%
37	香川	536	84.5%	502	93.7%	312	58.2%	296	55.2%
38	愛媛	618	85.1%	573	92.7%	368	59.5%	328	53.1%
39	高知	393	87.8%	364	92.6%	198	50.4%	179	45.5%
40	福岡	2,928	91.6%	2,780	94.9%	1,869	63.8%	1,613	55.1%
41	佐賀	498	90.0%	472	94.8%	253	50.8%	210	42.2%
42	長崎	723	92.1%	686	94.9%	386	53.4%	305	42.2%
43	熊本	871	94.5%	846	97.1%	465	53.4%	403	46.3%
44	大分	574	91.8%	530	92.3%	297	51.7%	242	42.2%
45	宮崎	583	95.9%	567	97.3%	373	64.0%	328	56.3%
46	鹿児島	878	93.6%	817	93.1%	525	59.8%	477	54.3%
47	沖縄	583	89.2%	534	91.6%	343	58.8%	304	52.1%
合計		61,418	80.3%	57,029	92.9%	38,954	63.4%	34,476	56.1%

※「カードリーダー申込機関数」は、紙申請及びグループ申請の機関数を含めて集計。

※「申込率」は、「カードリーダー申込数（医療機関等数）」を「医療機関等数（医療機関等マスタ登録分（廃止を除く。））」で除したものである。

※「接続率」は、「本番接続機関数」を「医療機関等数（医療機関等マスタ登録分（廃止を除く。））」で除したものである。

※「参加率」は、「運用機関数」を「医療機関等数（医療機関等マスタ登録分（廃止を除く。））」で除したものである。

## 第 32 回 薬業連携会議議題

令和 4 年 12 月 14 日 (水) 19:30~

姫路商工会議所新館 604 会議室

病院薬剤師会：畑中先生（姫路赤十字病院）、濱中先生（ツカザキ病院）

本間先生（県立はりま姫路総合医療センター）

福田先生（国立病院機構 姫路医療センター）、

渡邊先生（姫路聖マリア病院）

日下先生（公立神崎総合病院）、平井先生（赤穂中央病院）

薬剤師会：池口、森保、西岡、松田、八木

### 1, リフィル処方箋の現状について

現状姫路市では病院も薬局でもほとんど目にする機会が無い。

ツカザキ病院 月間発行枚数 5 枚（主に整形外科）

赤穂中央病院 発行なし。

参加理事の調剤薬局店舗 応需なし。

3 師会でもリフィル処方箋の普及にはネガティブな印象。

### 2, 電子処方箋の進捗状況について

調剤薬局、各病院ともにほとんど具体的なシステム導入の進展なし。

病院側は医師の HPKI の登録がシステム導入最大のボトルネック。

HPKI の導入費用 医師は無料、薬剤師は 1 名 2 万円ほど。

調剤薬局側も同様に HPKI 登録が遅れており、システムベンダーからの具体的な話もない状況。

### 3, 連携ニーズ検討について

薬業連携を実感できる会のニーズがある。

→参加型(ディスカッションや意見交換の場を持てる)講演会の開催を検討。

### 4, 共催の講演会

コロナ禍前と同様年 2 回の病院薬剤師と調剤薬局薬剤師の合同勉強会を検討。

以前と同様、4 月頃、12 月頃に実施予定。

手始めに 2023 年 4 月頃を目途に病院薬剤師と調剤薬局薬剤師の交流の場となる参加型の講演会を検討。

次回会議までに以下を検討。

- ① 講演会の構成
- ② 内容(テーマ)
- ③ 開催曜日と時刻、講演時間
- ④ 参加人数
- ⑤ 共催先

## 5. その他

医薬品の供給困難の件。

引き続きコロナールや漢方薬など、流通困難な医薬品が多数ある。

供給困難の医薬品がある場合、以下のように対応する。

【調剤薬局側】供給困難医薬品を供給可能薬局に分譲依頼、もしくは紹介にて対応。

それでも対応できない場合は、変更可能な代替薬を提案した上で処方医に処方変更依頼。

【病院側】問い合わせがある際は、医師に電子カルテで対応可能な代替医薬品への変更を周知依頼。

### 【事例の共有】

流通不良に伴う在庫不足にて薬局から病院へ疑義紹介→病院から変更できない旨の返事があり、患者様に薬がお渡しできない旨をお訴えしたところ、今回限り変更に対応するが、次回以降は薬剤師会に対応してもらおうよう促された。→このような場合には、薬剤師会は対応できるのか？次回以降も流通不良が改善されていない場合は今後どうすればいいのか？とのご相談を頂いた。

⇒【当会からの依頼】

すべての会員薬局が保有する備蓄薬剤の在庫を、当会が把握することはできず、流通不良の医薬品の調達に対し、当会が対応する事はできません。

疑義照会の際には、疑義照会の時間を短縮できるよう、「代替え案を必ず医療機関様に提示する」ことを徹底するよう会員薬局に配信していきます。

医療用医薬品の流通不良の問題は、あと数年続くと予測されます。疑義照会させていただいた際には、処方変更を含めた柔軟な対応を、今一度お願いいたします。